



2022年6月1日

各 位

会 社 名 株式会社ギフトホールディングス
代表者名 代表取締役社長 田川 翔
(コード：9279、東証プライム市場)
問合せ先 常務取締役管理本部長 末廣 紀彦
(TEL. 042-860-7182)

第2四半期（累計）連結業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2021年12月15日に公表いたしました2022年10月期 第2四半期（累計）連結業績予想を下記の通り修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 2022年10月期 第2四半期（累計）連結業績予想数値(2021年11月1日～2022年4月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円
前回発表予想（A）	8,070	830	960	610	61.28
今回修正予想（B）	7,891	773	1,197	816	82.05
増減額（B－A）	△178	△56	237	206	
増減率（％）	△2.2	△6.9	24.7	33.9	
（ご参考） 前期第2四半期連結 実績(2021年10月期第 2四半期)	6,303	306	553	355	35.74

2. 修正の理由

第2四半期連結累計期間につきましては、現在公表している業績予想には織り込んでいなかったまん延防止等重点措置が発令され、全面解除された3月以降も人流の回復が鈍い状況で進捗いたし

ましたが、直営店及びプロデュース店における新規出店を減速させることなく積極的に取り組みました。さらに、商品品質、店舗オペレーション、及び物流の改善を徹底することで収益性を向上させ、売上高、営業利益ともに前年同期を大幅に上回り、概ね計画通りに推移しております。加えて、営業時間短縮に伴う時短協力金等を受給できたことにより、経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益については計画を大きく上回る見通しとなり、第2四半期（累計）として過去最高水準となる見通しです。

このことから、2021年12月15日に公表いたしました2022年10月期 第2四半期（累計）連結業績予想を修正いたします。

なお、2022年10月期の通期業績予想につきましては、各種情勢を見極める必要があるため、通期業績予想は据え置くことといたします。今後の業績動向等により修正が必要となった場合には、速やかに公表いたします。

※上記の予想は現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、実際の業績は様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上